

# 労働学校友の会ニュース

2017.8.26  
NO.57

発行人 世話人一同  
京都労働学校友の会  
京都市中京区  
壬生仙念町30  
京都勤労者学園気付

## 友の会 第三十回イベント「案内

### 奥の細道むすびの地

## 城下町大垣とビール工場見学

### 【実施日】

2017年10月1日(日)

### 【問い合わせ】

伊東和代 電話

### 【交通機関】

マイクロバスを利用します

鈴木金雪 FAX専用  
075-1394-4352

### 【集合場所・時間】

新都ホテル前(京都駅八条口)

### 【案内】

午前8時00分 出発

### ◆ 大垣城

### 【コース】

京都⇨大垣城：郷土館：水門遊歩道：奥の細道むすびの地記念館(概要説明後・昼食)・館内拝観⇨キリンビール滋賀工場⇨京都へ(午後7時頃着)

◆ 大垣城は、天文4年(1535)、宮川吉左衛門尉安定が築城したといわれ、水門川の流れを外堀に利用して築かれた。関ヶ原の戦いのおりには、西軍石田三成の本拠地ともなった。寛永12年(1635)、戸田左門氏鉄が入城し、その後、11代にわたる善政が続いた。

◆ 郷土館

◆ 無何有荘大醒樹

◆ 奥の細道

◆ 大醒樹は、大垣藩の藩老小原鉄心が安政3年(1856)に大垣城下の北、林村(現・大垣市林)に設けた別荘「無何有荘」の一亭であり、藁の網代天井や紅殻塗装など随所に中国風意匠を取り入れられており、南側の衝立には、江戸時代には珍しい「ギヤマン」と呼ばれた色ガラスがはめ込まれている。

◆ 奥の細道

◆ 無何有荘大醒樹

◆ 奥の細道

◆ 大醒樹は、大垣藩の藩老小原鉄心が安政3年(1856)に大垣城下の北、林村(現・大垣市林)に設けた別荘「無何有荘」の一亭であり、藁の網代天井や紅殻塗装など随所に中国風意匠を取り入れられており、南側の衝立には、江戸時代には珍しい「ギヤマン」と呼ばれた色ガラスがはめ込まれている。

0キロメートル)、日数約150日間で東北・北陸を巡って、元禄4年(1691)に江戸に帰った。「おくのほそ道」では、このうち武蔵から、下野、岩代、陸前、陸中、陸奥、出羽、越後、越中、加賀、越前を通過して旧暦9月6日美濃大貝を出発するまでが書かれている。

## お知らせ

労働学校友の会は発足30周年を迎えます。我々が世話人を引き継いでから早10年となりました。

この間、ご声援いただいた皆様に御礼申し上げます。今回で友の会イベントは終了したいと思います。友の会の今後については改めてお知らせいたします。

◆ 昼食 各自持参

◆ 参加費 一人 5000円

◆ 定員 先着順20名

◆ 申込締切 9月20日

◆ 申し込み

同封の「はがき」に必要事項を記入の上、投函して下さい。

◆ 申し込み

◆ 申し込み

◆ 申し込み